



有限会社 吉田工業

vol.40

2026年4月15日発行





事務

## HABUKA KAORI 羽深香織

2021年、上越火力発電所の建設にともない、地元採用で入社した羽深香織さん。期間限定の事務員から始まり、現在は現場運営に欠かせない存在として信頼を集めています。組織を支える事務職の流儀と、日々の業務に向き合う姿勢を聞きました。

### 吉田工業に

### 入社した経緯を

教えてください。

2021年1月、上越火力発電所の建設工事にともない、現場に1人事務員が必要だということ、以前から面識のあった社長に声をかけていただいたのがきっかけでした。当初は約1年の期間限定で、前職を辞めるタイミングだったこともあり「やってみようかな」という気持ちで入社を決めました。

入社直後は右も左もわからず手探りの状態。しかし、毎日のように社長や役員に「これはどうしたらいいですか」と教えるようお願い、本社の副社長にも連日電話で相談するなど、必死に実務を吸収しました。

現場で皆さんが一生懸命に働く姿や、休憩時間の和やかな雰囲気に触れるなかで、役員や社員の方々の人柄を知ることができました。期間雇用の満了時に継続の打診をいただき、改めて正式に採用していただいたのです。

### 事務作業のミスを

### 防ぐための工夫は

ありますか。

現在は事務全般に加え、採用などの人事業務も並行して担当

しています。多忙な日々で大切にしているのは段取りです。正直なところ、スケジュール管理が得意な方ではありません。苦手だとわかっているからこそ、余裕を持って準備を整えておくことを大切にしています。

また、ただ事務所待つのではなく、毎日必ず現場へ顔を出し、作業員の方々に必要なことがあるか直接声をかけて回るように心がけています。現場から、「急にこれが必要になった」と突発的な依頼が飛び込んできても、即座に対応できる体制を整えるのが段取りの目的です。

## 事務職としての責任を感じるのは、どのような場面ですか。

建設業界は、書類が受理されて初めて作業の許可が下りる書

類先行の世界です。作業員の方々が現場に入るためには、個人の名簿や会社の書類を不備なく提出し、元請け業者から入構許可を得る必要があります。もし提出が遅れば、現場に入ることすらできず、工事の手を止めてしまつことになりかねません。

事務のミスは、現場の停滞に直結します。そのため工期を逆算し、何週間も前から準備を重ね、強い責任感を持って取り組んでいます。

## 協力会社とのやり取りで心がけていることは何ですか。

協力会社の方々に対して、常に敬意を持って接することを大切にしています。年齢や立場にかかわらず丁寧な言葉遣いを徹

底し、適切な距離感を保つようになっています。

この考えの根底には、入社当初の上越火力発電所での経験がありました。大勢の力が集結して初めて工事が成り立つ光景を目にし、「皆さんがいてくださるからこそ仕事ができるのだ」と実感した現場だったからです。私は皆さんをサポートする側の人間なので、何かあれば遠慮なく言っしてほしいと思います。円滑に連携できる環境を整えていきたいと考えています。

## 今後の展望についてお聞かせください。

もしミスをして落ち込んで、誠実に謝罪し、一晩寝て気持ちを切り替えるようにしています。入社当初から、常に周りの方がサポートしてくださる環

境に、本当に助けられています。これからも現場のサポート役として、できる限りの要望に応えていきたいという思いです。

羽深さんの言葉からは、裏方として組織を支える責任感が伝わってきました。書類の先にいる仲間の状況を常に思い浮かべ、段取り8分の精神で自ら現場へ足を運ぶ。その地道な積み重ねが、吉田工業のチームワークを支える確かな力となっています。

## 企業情報

設立年：1987年5月12日  
年商：12億円

※2023年3月時点

今日から  
使える

# アンガーマネジメント術

ついカッとなって後悔したことはありませんか？怒りは自然な感情ですが、振り回されると信頼関係や健康を損なう原因になります。そこで今回は、怒りと上手に付き合う方法をご紹介します。

## アンガーマネジメントを実践しよう！

### 1. 「魔の6秒」をやり過ごす

怒りのピークは長続きしません。まずは「6秒間」数えてみましょう。これだけで衝動的な言動を防げます。やり過ごすには、右記の方法がおすすめです。

**物理的に離れる** その場を離れ、視界から原因を消す。

**思考を切り替える** 楽しかった思い出や没頭できる趣味を思い浮かべる。

### 2. 「べき」という固定観念を手放す

「普通はこうすべきだ」という自分の正しさに固執すると、他者の言動が許せなくなります。「人は人、自分は自分」と一旦受け入れ、新しい価値観に触れる余裕を持ちましょう。

### 3. コントロールできることだけに注力する

天候不良や他人の性格など、「自分では変えられないこと」に怒るのはエネルギーの無駄遣いです。「仕方ない」と割り切り、自分が今できる最善の行動に集中しましょう。

### 4. 怒りを可視化して客観視する

イラッとしたら、その度合いを10段階でスコア化してみてください。後で振り返ると「意外と大したことなかったな」と冷静に自分の怒りのパターンを把握できます。



**まとめ** アンガーマネジメントを習得すれば、冷静な判断力が身につく、職場環境や人間関係も劇的に改善します。怒りが湧いたとき、まずは深呼吸して「6秒」待つことから始めてみてください。



## クイズ!

日々の業務で見逃しがちな業界ニュースですが、将来の保守・建設案件に直結する情報は少なくありません。では今回も、目指せ、全問正解！

### 第1問

脱炭素化やAIの普及による電力需要の急増に対する切り札として、次世代の革新的な原子炉への期待が高まっている。従来の原発より小型で安全性が高く、工場で組み立てて現地へ運搬できる「○○○」は、海外ですでに建設が進み、日本でも導入に向けた議論が活発化。

**問題** ○○○に当てはまるものを(1)～(4)から選べ。

(1) LNG (2) SNG (3) CCS (4) SMR

#### ▼参考

脱炭素を目指す手段として重要性高まる「○○○」が注目される背景と展望：東京エレクトロン [https://www.tel.co.jp/museum/magazine/report/202601\\_02/](https://www.tel.co.jp/museum/magazine/report/202601_02/)

② (17) SMR (Small Modular Reactor) = 小型原子炉

### 第2問

東京電力は2026年3月、○○○原子力発電所の使用済み核燃料を保管する施設の建設について、当初目標としていた「2025年度中の着工」を延期すると発表。原子力規制委員会の認可取得の難航が理由。

**問題** ○○○に当てはまるものを(1)～(4)から選べ。

(1) 福島第一 (2) 福島第二 (3) 柏崎刈羽 (4) 女川

#### ▼参考

使用済み燃料乾式貯蔵施設の工事着手の延期について：東京電力ホールディングス株式会社 <https://www.tepco.co.jp/2f-np/information/handouts/pdf/2026/j260302b-j.pdf>

② 二階貫貯 (2) = 掘り

変化の激しいエネルギー業界だからこそ、日頃からニュースにアンテナを張って知識をアップデートしましょう！

# 現場紹介



建設工事部機械課 主任  
むらやま ひろと  
村山 紘斗さん

## 初の責任者として挑む、狭い現場での発電所建設

福島県南相馬市。原町丸三製紙の発電所建設現場では、限られた狭いスペースの中で他業者と協力しながら工事が進められています。初めて工事責任者を任された村山さんに、周囲がスムーズに作業できる環境づくりへの思いや、注力していることについて伺いました。



### 現在の業務と特徴

2025年11月から、原町丸三製紙の敷地内における発電所新設工事に携わっています。発電所の建設自体は経験がありますが、今回の現場は作業エリアが非常に狭いという特徴が……。そのため、自分たちの資材や重機を配置する場所の確保など、他業者との関わり方に難しさを感じる場面も多く、重要な課題です。

### 他業者との連携

同じ敷地内には他の業者も入っているため、資材置き場やクレーンの調整に気を配っています。今までも、互いに工程表を照らし合わせて使用タイミングをずらすなど、作業が重ならないよう協議を重ねてきました。こうした細やかな調整により、現在まで大きなトラブルもなく進行しています。

### 現場の体制と状況

現在は協力会社の方々を含め、約30名体制で作業を行っています。基本的には土日休みで、平日には皆でそれぞれの持ち場に別れて業務を進めています。工期全体のうち、まだ半分程度が終わった段階。原町は基本的に天候にも恵まれているため、現場の進捗は順調です。

### 現場で見た新しい景色

今回のプロジェクトで、初めて工事責任者を任せていただきました。自分で工程を組み、仕事の流れを作って皆さんに指示を伝える業務は、印象深い経験になったと感じています。自分の指示や考えを持って人を動かす立場のため、実際に動いてくれる人たちがスムーズに作業できるよう、日々心掛けています。

# リスクリングは 君のために!



## ～安全と基本を伝える実技講習の思い～

リスクリング研修を、あなたはどんな気持ちで受けていますか？これらは、従業員全員がケガなく安全に作業するための大切な時間です。

今回は、講習の準備から指導まで、受講生が実際の現場で基本を活かせるよう熱意を持って取り組む松本さんに話を伺います。今後は全社員で、より有意義なものにしていきましょう！

機械課 課長

まつもと あつし

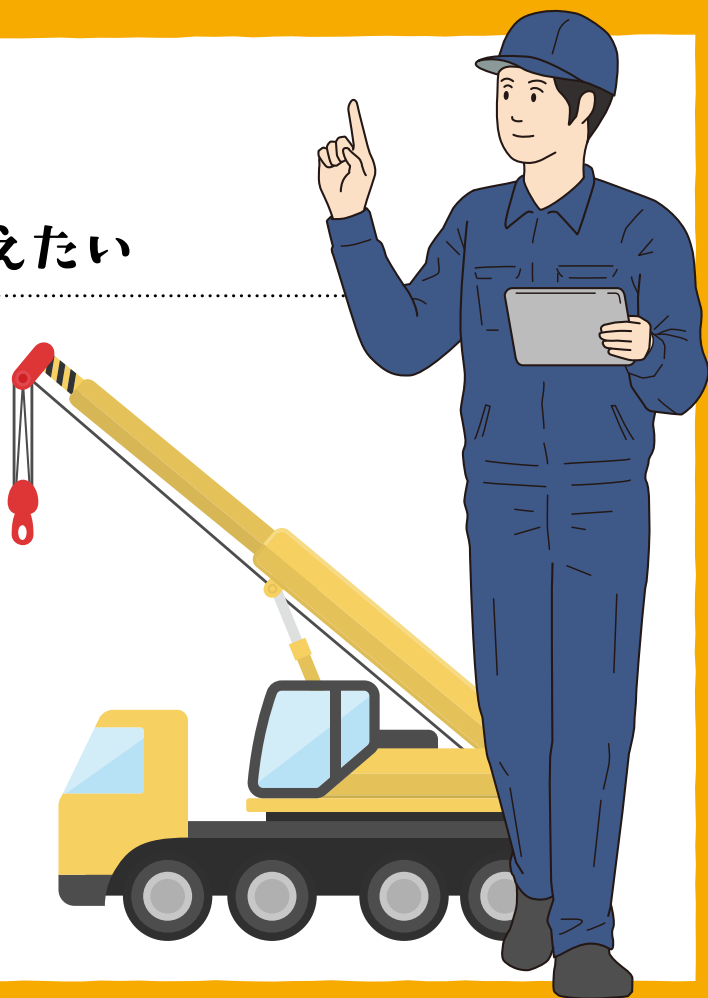
松本 厚さん

## 準備へのこだわり

### 現場で活用できる技術を伝えたい

実技の練習に特に力を入れていて、重量物や長尺物など、さまざまな品物を用意し、一つひとつ段取りを組んで講習を受けられるように準備しています。

1回目の講習は5名程度で行い、それぞれの現場で実際に起こり得る状況をイメージしました。例えば、重機を使って重量物の天地をひっくり返す作業は非常に危険。万が一ワイヤーロープが切れれば重大な事故につながります。そのため、現場に合わせた安全なやり方を、危険なポイントとともに細かく伝えています。私たち自身も「教える」ことは初めての経験です。どうすればわかりやすく伝わるかを考えながら、日々取り組んでいます。



## 講習での工夫と心がけ 安全と安心を第一に

現場が異なるメンバーと一緒に講習を行う中で、特に意識しているのは「誰もケガをしないこと」です。長年作業をしていると、どうしても慣れから自己流になり、危険な手順で作業をしてしまう瞬間も。だからこそ、経験の浅い若い方たちには、何事においても基本が大切であることをしっかり教えたい。基本を体で覚えれば、必ず応用が利くようになります。また、ルールを守りつつ、適度な余裕と笑いを交えた「楽しい現場」の雰囲気を作ることも、講師として工夫している点の1つです。



## 手応えを感じる瞬間 挨拶から見える成長



参加メンバーに変化が見られると大きなやりがいを感じます。朝来たときは声が小さかったメンバーが、帰りには元気よく挨拶をしてくれるようになることも。挨拶の段階から声を出せるようになることは、大きな成長の証拠です。また、特に指示を出さなくても自ら積極的にメモを取る社員や、わからないことをどんどん聞いてくる人もいました。そうした「知りたい」「成長したい」という意欲的な姿勢を感じると、教える側としても嬉しいものです。私自身も場数を踏み、よりわかりやすく教えられるように成長していきたいと考えています。

## 講習の効果への期待

### 無事故・無災害の実現へ

この取り組みを続けることで、会社全体が無事故・無災害になることを目指しています。多くの事故は、基本から外れた行動や、慣れによる思い込みから起こります。講習で改めて基本を知り、自分に刷り込んでほしいと考えています。また、それは作業の品質にも直結します。私たちが扱うのはお客様の大切な製品です。絶対に傷つけたり壊したりしてはいけないという意識を持ち、仕事に対する姿勢からしっかり伝えていくつもりです。無事故・無災害で楽しく働ける職場を目指し、年齢を問わず多くの方にこの学びの場へ参加していただきたいと思います。



